

鹿児島県漁海況週報

平成24年2月23日発行(2月16日～2月22日)
 第2444報【旧暦:1月25日～2月1日/月齢23.8～0.2/潮汐:長潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
 〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
 TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
 HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

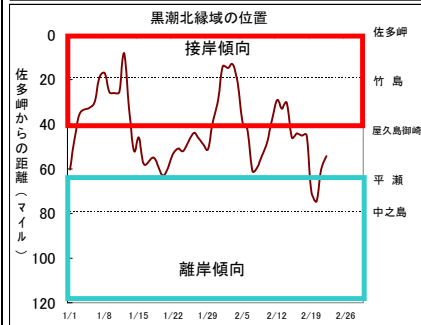
黒潮北縁域は、2月22日現在、平瀬の北9.7マイル付近にある。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、2月21日現在、52マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、佐多岬、竹島、中之島、笠利崎で0.1～1.3℃昇温し、その他の海域で0.1～1.1℃降温した。平年比較では、与路島で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	21.7	-0.1	-0.0	平年並
鹿児島	15.7	-0.1	-0.2	平年並
佐多岬	18.3	+1.3	+0.7	平年並
竹島	18.5	+0.1	-0.5	平年並
屋久島御崎	19.6	-1.1	-0.3	平年並
中之島	21.4	+0.1	+0.1	平年並
笠利崎	20.7	+0.2	-0.0	平年並
与路島	20.2	-0.8	-0.5	やや低め
与論	21.1	-0.3	+0.0	平年並
甕海峡	16.6	-	+0.6	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は2/22～2/23
 串木野一甕定期客船観測は2/22

【漁況】

○定置網

甕島海域では、ヨコワ(3～7kg)が多い日で30～40尾/日、ゴマサバ(300～600g)が多い日で40kg/日、メジナ(500～600g)が1日のみ100kgの入網。西薩南部海域では、1日のみヨコワ(3kg)が37尾、フリ(4～9kg)が2日間で150尾の入網。鹿児島湾口薩摩半島側では、カクチイワシが1日のみ330kgの入網。鹿児島湾口大隅半島側では、週計でゴマサバ(100g)が900kg、マジン(100～200g)が300kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で56統がスルメイカ、カマス、カクチイワシ主体に36トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、スルメイカ、サワラ主体に6.6トンの入網。種子島海域では、マジン(100g)が多い日で150kgの入網。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口薩摩半島側では、6～8kgサイズを15～100尾/統・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大トビを100箱/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを10～30箱/統・日の漁。

(まき網、専受網、カツオ平均の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

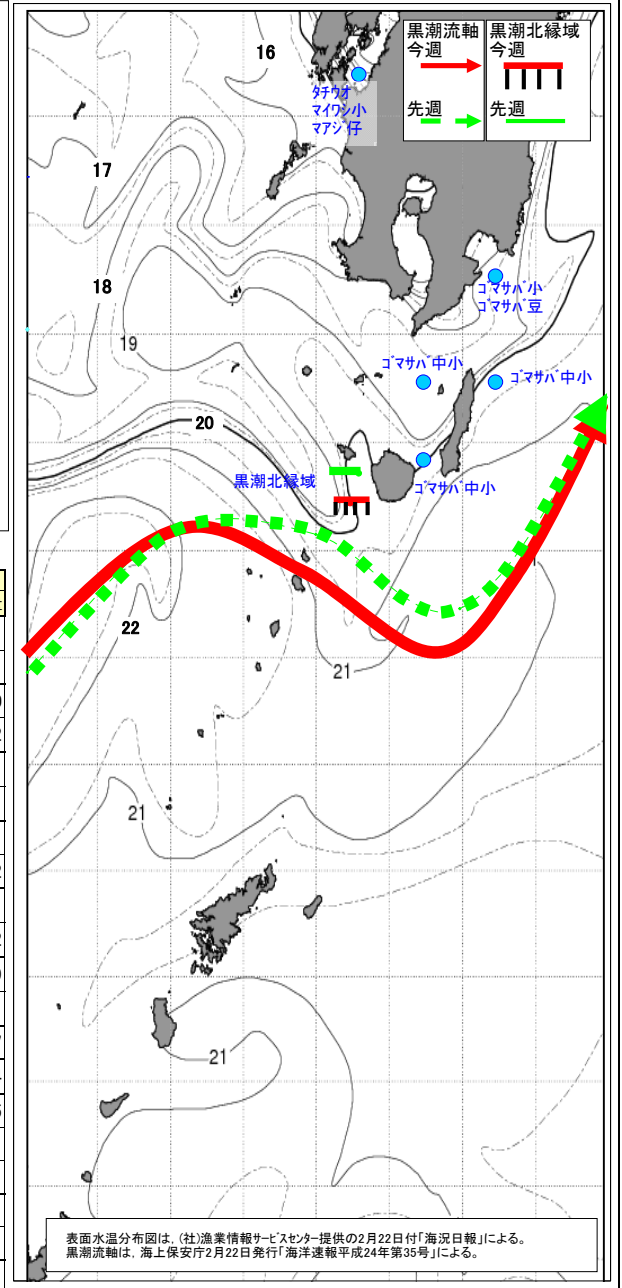
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2395報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—		—	2	12	2	111	
		中	4	18	長島	好ウオ61 マイワシ小22 マジン仔7	4.4	6	24	0	—
	枕崎	大	6	315	馬毛島 志布志沖	ゴマサバ中小60 ゴマサバ小21 ゴマサバ豆9	52.5	1	76	5	460
		中	22	900	馬毛島 島間沖 種子島東 志布志沖	ゴマサバ中小80 ゴマサバ豆6	40.9	12	421	20	582
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	6	315			52.5	3	88	7	571	
	中	26	917			35.3	18	445	20	582	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	3	516		オアカム049 クサヤモロ豆28 クサヤモロ中小20	172.0	2	498	1	322	
棒受網	阿久根	22	16	阿久根沖 長島	クルマイワシ56 カクチイワシ20 マイワシ小13	0.7	18	18	15	19	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	56	36		スルメイカ66 カマス8 カクチイワシ8	0.7	56	32	49	27	
刺網	阿久根	大	0	—		—	0	—	2	485	
		小	0	—			—	0	—	0	—
	枕崎	大	0	—			—	0	—	0	—
		小	0	—			—	0	—	0	—
	海旋	1	703		カツオ小85 キハダ8	702.9	2	755	0	—	
	山川	中	0	—			—	1	2	0	—
海旋	1	339		カツオ小99	338.5	0	—	0	—		
瀬戸内	小	—	—			—	—	—	—	—	

○キビナゴ刺網

甕島海域では、3～4箱/隻・日の漁。鹿児島湾口大隅半島側では、3～5箱/隻・日の漁。種子島海域では、5～12箱/隻・日の漁。

○その他

甕島海域では一本釣りでマダイ(1～3kg)を多い船で30kg/日の漁。西薩海域では、刺網でヒラメ(0.8～1kg)を多い船で50kg/日の漁。西薩南部海域では、刺網で2日間のみサワラ(2～2.5kg)を60kg/隻の漁。鹿児島湾口薩摩半島側では、曳縄でヨコワ(1.5～2kg)を20kg/隻・日の漁。志布志湾海域では底曳網でコウイカ(500～600g)を20kg/日の漁。熊毛海域では、一本釣りでマダイ(3～4kg)を多い船で10尾/日、ゴマサバ(600g)を40～100尾/隻・日、マダイ(5～6kg)を多い船で250kg/日の漁。奄美南部海域では、旗流してツテイカ(胴体のみ10kg)を3日操業で35～55ハイ/隻、2日操業で25ハイ/隻、日帰り操業で10ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の2月22日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁2月22日発行「海洋通報平成24年第35号」による。